

宝物殿は重要文化財指定を受けております。明治天皇と昭憲皇太后の身の回りの品々を多数収蔵しています。現在は耐震工事施工のために一次閉館されており、所蔵品は新しい明治神宮ミュージアムに移されています。宝物殿は1921年に竣工しました。建物は校倉造りという構造を模したものです。校倉造で有名な建物は奈良の正倉院（日本の国宝庫）を模したもので、759年以前よりあるものとされてます。宝物殿は全体がコンクリートの建築物として日本の最初期のもののひとつで、西洋と日本の建築スタイルが融合されています。宝物殿の前には良く整備された芝生が敷き詰められており、それが芝地や北池まで続いています。